

ヒーターサンプル実装手順

(例:面状発熱体 標準品 FLヒーター-03_PI_32Ω)

1. ヒーター形状



説明の都合上、ハトメが出ている面をカバー面、その裏側をベース面と定義します。

写真は特に記載の無いものはカバー面より撮影したものです。

[参考]

製品構成:カバーPI25 μ /シリコン粘着材層/SUS30 μ /接着剤層/ベースPI25 μ

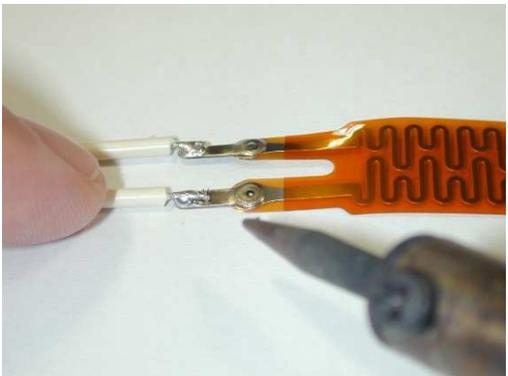
端子加工:ラグハトメ2ヶ

2. 端子部下はんだ



ラグの先端部をアルコール等で脱脂・洗浄後、はんだを少量乗せておく。

3. 電線はんだ付け



使用電線:AWG24 シリコン電線

下はんだを行った電線をラグ先端部の下はんだ部に当ててはんだ付けを行う。

4. はんだ付け完了状態



飛散したフラックスはアルコールなどで洗浄除去すること。

5. 熱収縮チューブ挿入



片方挿入状態



両方挿入状態

使用熱収縮チューブ: スミチューブ F(Z) 2×0.1

25mm程度にカットした熱収縮チューブを端子の根元まで挿入する。

6. チューブ熱収縮



ドライヤーなどで熱収縮チューブを加熱し、収縮を行う。

最後に導体の露出やヒーターに折れやキズの無い事を確認し、テストで電線間の抵抗値を確認して終了。

[注意]

今回の実装方法は一般的な例を示しているため、全ての用途についてこの実装方法が適用されるものではありません。